

2018年9月30日

報道機関 各位

## 秋季展覧会開催のお知らせ

### 「粗品？粗品！一時代の空気感を映すー」



〒663-8558 兵庫県西宮市池開町 6-46  
広報室 TEL:0798-45-3533

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室では、10月17日（水）から12月5日（水）まで、武庫川女子大学学術研究交流館5階ギャラリーで、秋季展覧会「粗品？粗品！一時代の空気感を映すー」を開催しますのでお知らせします。

秋季展覧会は、本学が研究、教育の成果として所蔵する3万6000点の生活文化関連資料から、毎年、テーマを決めて展示、公開するものです。資料の中でも大きなウェートを占めるのが、大阪市東住吉区に戦前から残る旧家の生活財をほぼ一軒分、保存する「中田家コレクション」です。今回はその中から、「粗品」に焦点を当て、戦時中から現代までの約800点を展示します。

展示にあたっては、「粗品」と書いた熨斗紙（のしがみ）や包み紙、店や会社名が入ったものを、「粗品」とみなしました。銀行や百貨店のお得意様へのお礼、イベント等の記念品、企業の販売促進など、目的は様々。ティッシュやマッチといった簡易なものから、タオル、扇子、タッパー、ポーチなど軽いもの、湯呑、ガラス食器、漆器など高級なものまで、多種多様な日用品が並びます。銀行のキャラクターグッズとして配られたキューピー人形のコレクションは20体以上。クリスタルガラス風のプラスチック食器は、高度経済成長期の流行をしのばせます。戦争中、「銃後の守り」を任された女性たちに配られた日の丸の扇子、戦死者の遺族に、毎年、大阪府知事や大阪市市長から届けられた「粗品」も展示します。

10月17日（水）12時30分から、オープニングセレモニーと、展示解説があります。また、期間中、展示品について解説する「ギャラリートーク」を計4回開催。11月28日（水）には、シンポジウム「なぜ普通のモノをしらべるのか」を開催します。

詳細は、下記のとおりです。

## ■2018年度 秋季展覧会「粗品？粗品！—時代の空気感を映す—」

戦時中から現代までの「粗品」約 800 点を展示

展示期間：2018年10月17日（水）～12月5日（水）

開館時間：10時～16時40分

場所：武庫川女子大学 学術研究交流館 5階ギャラリー（西宮市鳴尾町 1-10-21）

休館日：土曜・日曜・祝日、11月22日（木）

## ■関連企画

（1）ギャラリートーク（展示解説）

日時：10月24日（水）、11月7日（水）、11月14日（水）の12時30分～13時  
11月28日（水）14時～14時30分

場所：武庫川女子大学 学術研究交流館 5階ギャラリー

（2）シンポジウム（文化庁支援事業）

日時：11月28日（水）15時～17時40分

場所：武庫川女子大学 学術研究交流館 1階ホール

基調講演「なぜ普通のモノを集めしらべるのか」市橋芳則氏（昭和日常博物館館長）

パネリスト：池田治司氏（大阪商業大学商業史博物館学芸員）

佐藤浩司氏（国立民族学博物館准教授）

安藤明人氏（武庫川女子大学教授）

コーディネーター：横川公子・武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室室長  
定員 70 人。

※いずれも入場無料。事前申し込みは不要。

なお、一般の方へは、ご来場の際、公共交通機関のご利用をお願いしています。

この件についてのお問い合わせは、武庫川女子大学附属総合ミュージアム設置準備室事務室（電話 0798 - 45 - 3509）までお願いいたします。下記の 写真のデータが必要な方は、広報室（電話 0798-45-3533）にご連絡ください。



原田治のイラストによるキャラクターグッズ



プラスチック製のアイデアグッズ



飲食店や銀行からのマッチコレクション